

「虹の森」通信

９月号　第１１９号

発行日　：２０２６年　８月２４日

発　行　：**虹技株式会社**

安全環境管理部 環境管理Ｇ

姫路市大津区勘兵衛町４丁目１

☎　０７９－２３６－３２５７

意外に　今年の夏は暑いっちゃ暑いのだけど、過ごしやすい日もありますね。それとも、身体が温暖化になれて来ているのでしょうか。　タイトルバックはササキリの幼虫です。非常に長い後ろ脚が特徴のキリギリスの仲間で、笹に住む「ササキリ」。　成虫は緑と褐色のツートンカラーですが、幼虫はそれと違って、頭がオレンジで胴体は赤黒い褐色です。　誰ですか？便所コウロギみたいって言ってるのは。　ちゃんとキリギリスです。



さて、こちらはスジボソコシブトハナバチという長～い名前のハチです。　名前は長いのに、ハナバチとしては比較的小さくて、１５ミリくらいの大きさ。　ハチって腰がくびれたセクシーなスタイルがイメージだけど、こいつはズンドウ。　毛皮のショールを羽織ったみたいで、お尻にかけては細目の白いボーダーがシックなマダム風。　花の蜜を吸うこの長～い舌が特徴ですが、攻撃性はあまりなく、受粉に役立つハチです。



左下の白いチョウはツバメシジミです。　ツバメと付くのは、羽の後ろの尾状突起（写真では分かりにくいかもしれません）が燕尾を連想させるからです。　羽の表側はオスが青紫、メスは黒褐色ですが、裏側は写真のとおりオス・メスとも同じオレンジ色の紋が特徴です。



こちらはおなか部分が黒い糸状で、胸と尾っぽの先は鮮やかなターコイズブルーのクロイトトンボの雄です。　水辺が大好きで、みなもに浮かぶ葉っぱや枝などに好んで留まり、低く水面すれすれに飛ぶのも特徴です。



しんがりは、オオホシカメムシです。　いわゆる一般的なカメムシより大きく、ペタンと平べったくて赤褐色と黒のツートンカラーでよく目立ちます。名前のとおり背中に大きなふたつの黒い紋（星）があります。　珍しいからと、触ってはいけませんよ。　カメムシ特有のあの臭いを放つので要注意。くっさいですよ～。

環境爺（じじい）のつぶやきコラム

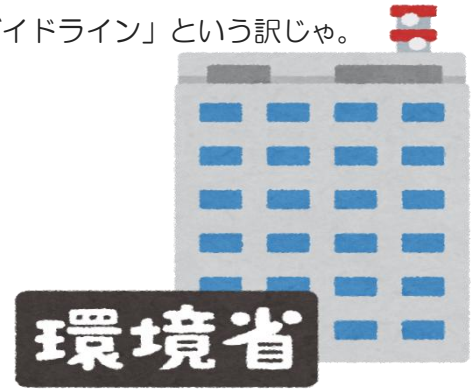


腱板断裂の入院から、半年がたち、ようやく以前のように運動が出来るようになってきたところで、まず足腰からと裏山に登ってみることにしたのじゃ。　入院前には普通に登れていたが、衰え切った身体にはキツい。　それでも、運動できる喜びが山好きを覚醒させ、以来、早朝にせっせと登っておった。　ところが先日の事じゃ。　いい調子で登ってから、ゆるゆると降りていたら頭に激痛が走った。「痛っ！」と見上げると、登山道のど真ん中を倒木がふさぎ、それが視界に入らずに頭を打ち付けたのじゃ。　登山は頭上より足元を見て歩くので、こんな災難に…。　しかも、とがった枝でざっくり切れてまたも流血騒ぎとなってしもうた。



運動が出来る嬉しさに浮かれ、注意力が足りんかった。　これからは、いつも登っている裏山とは言え軽く見ず、ちゃんとヘルメットを装着するぞ。
また、同じようなケガを他の登山者がせんようにと、ロープとノコギリを持ち込んで切り倒し、危険な枝は全部取り除いておいたぞ。

さて、今回は今年の３月に１３年ぶりに改訂された環境省の「環境表示ガイドライン」について解説しよう。　以前からわしがぼやいているように、環境に関する表示や主張は、怪しいものがとにかく多い。　明らかにウソじゃろとか、それは間違っておるじゃろという内容のものが散見される。　例えば「地球に優しい」とか「環境に優しい」とか、「エコです」「サステナブルです」てな表現があふれかえっておる。　あれって、何がどう優しいのか誰もハッキリわからんわなぁ。　企業や製品のイメージアップの戦略的表現じゃ。　はっきり言って根拠が明確にされていない。　以前説明したグリーンウオッシュ（環境に良いように見せかけるウソ表示）が横行しておる為、環境省が打ち出したのが新しい「環境表示ガイドライン」という訳じゃ。



このガイドラインは、次の五つの基本を軸としておる。

１．あいまいな表現はしない
２．環境主張には具体的な説明を示す
３．ライフサイクル全体を考える
４．根拠を確認できるようにする
５．比較は適切にする

ちょっと、小難しい内容じゃが、要するに環境に対して安易にやさしい等と曖昧に主張するのはダメと言うことじゃ。

「何が」「何と比べて」「どれくらい」「どのように」環境に配慮できているかを具体的事実に基づき、数値化して説明しなければならないということじゃ。

例えば、「環境に優しい」ではなく「製造段階における電力使用量を、当社従来品と比べて２０％削減している」という風に新ガイドラインでは説明しなければならんとしている。



もちろんそれだけでは十分でない。　できうる限りの具体的数字はもちろん、その根拠となる比較対象や検証機関の信ぴょう性、ライフサイクル全部を考慮していることなども盛り込み、なおかつそれらのデータが公開されていなければならんとしておる。　これは、相当厳しいぞ。



これらは、一般消費者が誤認するようなごまかし表示をなくそうという目的で制定されておるが、あくまでガイドラインなので守らなかったとて、法律違反でもなく、罰則がある訳ではない。　じゃが、ガイドラインには製品そのものの広告だけではなく企業のイメージ広告も含めておるから、ガイドラインに沿わない広告を出せば、企業は社会的に信頼を疑われることになろうな。　また、製品においてもガイドラインに罰則はなくとも、景品表示法と言う法律には措置命令や課徴金、刑事罰などが用意されており、その法律の判断基準となるため、強い影響力を持つことは間違いなかろうな。



それくらい、環境表示は全世界的に嘘やまやかしが多いということなのじゃ。　いわゆるこれがグリーンウオッシュ問題じゃ。　皆も、グリーンウオッシュに騙されんようにな！　「環境に優しい」などとうたっておる「再エネ電力」はもちろん、「ＥＶ」「カーボンフリー」「CO_2削減」なんて言葉は疑ってかかった方が良い。

わしはもうひとつ言いたい。　それは、「天然素材だから安心」とか「自然由来なので身体に優しい」といった表示も、なんとかならんかと思っておるのじゃ。　以前から、常に主張しておるように、自然とは弱肉強食の戦いの世界。　天然素材には敵を駆逐する攻撃力のある毒や武器が必ず含まれておる。そういったものを含まない自然素材とは、人間が長い時間をかけて品種改良を加え毒を抜いて栽培・培養してきた結果の人工物じゃ。　それらは偽の天然素材と言っても過言じゃない。　天然とは、この弱肉強食を勝ち抜いてきた種であり、それは必ず敵を駆逐する毒をもっていることに他ならん。　そこんところを勘違いさせるような紛らわしい表現や製品広告はいかがなもんじゃ。

「自然由来だけど毒は除去していますので安心」とか「品種改良済みで身体に優しい」と言うのが本来じゃろう。　わしが、最近それを強く感じたエピソードがある。　あの凶暴なアシナガバチに人生で初めて襲われたのじゃ。　まるでアンパンマンかドラえもんの手のようにはれ上がった。　刺された所は、組織が完全に壊死して、直径５ミリ、深さ５ミリほど肉がえぐり取られてしまったのじゃ。　自然由来の毒がいかに強烈かを思い知らされたという訳じゃ。



ところで、今年は年初から手術やらリハビリやらえらい目ばかりあっておるが、なんだか生き方について、今更ながら色々と考えさせられる年でもあった。　おかげで、ようやく左手も生活に支障がないくらいには動くようになってきたし、体力が戻りつつあることに日々感謝と幸せを感じておる。　必ずいずれ訪れる最期に思いをはせて、今を思いきりに楽しんで過ごそう。　それが生きている者の義務じゃと、最近考えを改めた。　若いもんには、到底分からんじゃろうが、それこそが一番大事な生き方じゃないかの。　これがわしの生きる道じゃ。

ぶつぶつ

毎年大好評　あゆのつかみ取り体験

８月１日（土）に毎年恒例の「良い子の為のアユのつかみ取り体験」を行いました。　運営スタッフを入れて１１１名が参加し、昨年に引き続きにぎやかなイベントとなりました。　今年は熱中症対策も兼ねて、ちびっこたちの遊べるプールを増やし、川に入るまでの順番待ちも、あちこちのプールで歓声が沸き起こっていました。



子供たちは、アユのつかみ取りはもちろん、普段はできない串刺しも体験。　ふわっふわの焼きたてアユをお腹いっぱい食べて、アイスクリームの差し入れや、焼きマシュマロに舌つづみ。





お昼からは、クーラーの効いた管理棟で自然素材を使ったネイチャークラフトに取り組みます。　午前中にエキサイトしまくって、疲れているはずなのに子供たちはこちらでも大ハッスル。　集中して見本どおりにできた子もいれば、ユニークな作品に仕上



げた子供たちもいて、良い経験となったはず。　ネット世代の子供たちが、こんなにも目を輝かせて楽しい屋外イベントを喜んでくれるんだと感心することしきり。　準備の苦労なんて吹き飛ぶくらいの楽しいひとときでした。　来年はさて、どんな仕掛けを用意しようかな。

第１１７回　森林整備の案内と参加者募集

きびしい夏もそろそろ終盤です。　まだまだ残暑が厳しい時季ですが、虫やらヒルやらは猛暑で参って、もう姿を見せなくなっているはず。　熱中症にならぬよう、気を付けて活動を楽しみたいと思います。　デッキは完成したので、何か次の取り組みも考えなくちゃね。　次はフクロウを呼びこむ巣箱の設置なんてどうかなと思ったりして。　生物多様性を実現する何かを考えたいなぁ。

日　時　：　９月１２日（土）　１０：００～１５：００（９：３０公園駐車場集合）

場　所　：　県立ゆめさきの森公園（虹の森）

申し込み：　参加希望者は、環境管理Ｇ　的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。